

平成31年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課

担当名：社会参加推進・芸術文化担当

内線：3312

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B73	埼玉バリアフリー文化プログラム事業		一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者芸術・文化活動推進費	
事業期間	平成29年度～平成32年度	根拠法令	障害者基本法第25条 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律第5条		宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
					分野施策	061349	文化芸術の振興	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、パラリンピックレガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」の浸透を図るため、障害者アートの魅力を活かした質の高いイベントを開催する。</p> <p>(1) 埼玉バリアフリー文化プログラム事業 16,040千円 ア ハンドルズダンス公演 9,040千円 イ 障害者芸術文化活動普及支援事業 7,000千円</p>			<p>(1) 事業内容 ア ハンドルズダンス公演 近藤良平プロデュース障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演を県内外で開催する。 イ 障害者芸術文化活動普及支援事業 相談支援、人材育成などの県内障害者芸術文化活動を支援する団体・法人を対象に補助事業を行う。</p> <p>(2) 事業計画 ア ハンドルズダンス公演 これまでの有料公演で好評を博しているハンドルズの公演を、県内で更に多くの方に楽しんでいただくとともに、昨年度に引き続き、埼玉独自の文化資源として全国に周知するため県外派遣公演を行う。 イ 障害者芸術文化活動普及支援事業 平成29年度まで国が実施主体となり行われていた補助事業について、平成30年度から県が実施主体となり、国1/2、県1/2の費用負担で行っている。対象は、県内で障害者芸術文化活動を支援する団体・法人とする。</p> <p>(3) 事業効果 <ul style="list-style-type: none"> 県の先進的な障害者アートの取組を文化プログラムとして県内外に発信することにより、障害者アートに注目が集まり、それを契機として障害者への理解が深まり、パラリンピックレガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」が広がる。 より多くの方々に障害者アーティストの活躍を知っていただき、その作品に触れることが契機となり、障害者の芸術文化活動のすそ野が広がる。 障害者の芸術文化活動を支援する団体・法人を対象に補助事業を行うことで、民間主導による相談支援、人材育成、ネットワークづくり、展覧会の開催など県内障害者芸術文化活動の支援体制の拡充が図られる。 </p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 各事業ごとに、民間企業、障害者福祉施設等と連携・協力し事業を実施する。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
ア (国1/2、県1/2)								
イ (国1/2、県1/2)								
3 地方財政措置の状況			なし					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1.2人=11,400千円					
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
			国庫支出金					
決定額	16,040	6,571					9,469	△3,257
前年額	19,297	8,000					11,297	